

「第4回 みやぎ洋上風力発電等導入研究会」を開催します

県では、東日本大震災からの創造的復興を目指し、再生可能エネルギーの積極的な導入に取り組んでおり、特に、未利用で大規模な再生可能エネルギー源として期待される洋上風力発電の導入についても検討を進めています。

平成28年9月に関係行政機関や海域利用者、大学研究機関などによる「みやぎ洋上風力発電等導入研究会」を設置し、情報共有を図りながら導入可能性を探るため、先進地事例調査や一般向けフォーラムを開催してきました。

昨年9月からは、前回選定した「導入可能性調査エリア」2箇所において風況観測を開始しており、**これまでの観測結果や研究会の活動成果を踏まえた今後の事業展開等について報告するため第4回研究会を開催いたします**ので、ぜひ取材してくださいませようお願いします。

記

1 日 時

平成30年2月15日(木) 午前10時30分から正午まで

2 会 場

ホテルJALシティ仙台 2階「ローズIⅡⅢ」(仙台市青葉区花京院1丁目2-12)

3 参集範囲

研究会委員(別添名簿のとおり)及び傍聴希望者(風力発電関連企業等)

4 参加人数

130名(委員約30名、傍聴者約100名)程度

5 内 容

(1) 挨拶 宮城県環境生活部長 後藤 康宏(研究会座長)

(2) 議題 イ 研究会活動報告について

- ① 平成28, 29年度活動報告について
- ② 風況観測状況(中間報告)について
- ③ 経済波及効果について

□ 今後の展開について



第1回研究会



風況観測タワー(石巻港)



洋上風力発電イメージ